

企 業概要

- 社名：株式会社ウッドスタイル（島根県） <http://www.wood-style.com/>
- 従業員数：10人 ■資本金：2,158万円 ■売上高：1億70百万円
- 事業内容：家具・装備品製造業 ■知的財産：特許2件、意匠2件、商標2件

相 談のきっかけ

竹の平坦化新技術を家具から建材への事業展開

当社の技術で平坦化した竹を使い、喜多俊之氏がデザインした椅子を世界最大級の家具見本市「ミラノサローネ 2017」に出品したこと、平坦化した孟宗竹が世界的に脚光を浴び始めている。一方、孟宗竹は、その伐採に管理費用がかかることから放置され、土壤の保持力が低下して土砂崩れなどの原因となっている。そこで、当社の平坦化技術を応用して、家具用に留まることなく、建材用にも孟宗竹の利用分野を拡大できればと考えた。

孟宗竹を背景として特有なデザインを施した椅子



課 題と支援の内容

課題

知財による製品の保護

事業戦略の明確化

国内外事業戦略

リーダー：押久保 政彦（弁理士、ブランド専門家）
支援担当者：福代 功一（島根県知財総合支援窓口）

注)知的財産戦略アドバイザーは、INPITの専門人材です。

支援のポイントと活用した専門家

- ・新たな用途である建材用に適した 平坦化技術の確立と、権利化に向けた対応を支援する。
- ・特許での保護困難な部分については、ノウハウの抽出／リスト化と、ノウハウ自体の管理手法の確立に向けた支援を行なう。

- ・平坦化した竹の魅力を「建材」に発揮できるかの検討を進める。
- ・デザイナー喜多俊之氏の認知度を利用した「注文家具」⇒「建材」への事業展開の検討を進める。

- ・放置された「孟宗竹」による土砂崩れ等の被害は、国内外において発生しており、その対策の1つとして、竹の平坦化利用は重要である。それを踏まえて事業戦略策定の支援を行う。

弁理士/
知財戦略
AD^注/
知財経営
専門家

知財経営
専門家

弁理士/
弁護士/
知財経営専
門家

支 援を通じてできたこと

項目

知財戦略

- ・建材用に適した平坦化条件を見出し、平坦化後の竹の特徴的な構造について特許出願し、当社技術の権利保護を強化できた。
- ・新たな平坦化技術について、ノウハウ管理手法を学ぶことにより、権利化する部分とノウハウ化する部分の切り分けができた。

事業戦略

- ・国内外展示会で、ブランド力のある注文家具の椅子と併用展示し、「建材」の認知度の向上を図ることを進めることができた。
- ・海外進出する際のリスク管理の1つとして、売買契約等を締結する必要性も理解できた。

社 長の支援成果についてのコメント

「竹」の平坦化技術を知財（ノウハウ含む）で手当てができたことで、「家具」だけでなく、「建材」も製品保護可能となり、国内に留まることなく、海外の展開基盤が整ったと感じている。支援して頂いた後の引き合い等を考慮すると、売り上げの向上にも期待できる。